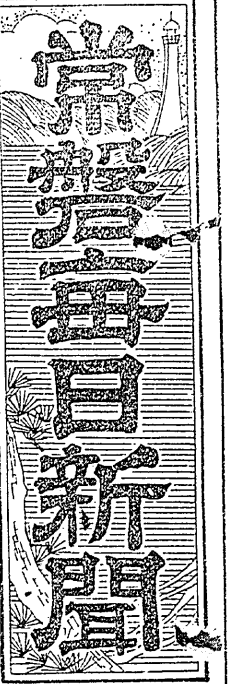


刊夕 日七月二



定額一圓五角 零售一圓
 電話 五五五 印刷部 五五五
 發行所 常磐每日新聞社
 印刷所 常磐每日新聞社

常磐炭田の開発と

片寄平藏

山口彌一郎

2、本邦に於ける諸炭田の発見

石炭発見の最も古いものは約四六〇年前文明元巳丑年(一四六九年)九州三池大浦山に近

かい稻荷山で傳次左衛門が焚火をして黒い石の燃え出したのに気付いたと言ふのである。採掘したのは享保年間(一七二〇年)の平野山に於けるものが傳へられてゐる。元祿十五年(一七〇二年)十一月脱稿と云ふ貝原益軒先生の筑前續風土記に筑豊炭田、糟屋炭田に就いて次の如くである。「遠賀、鞍手、嘉麻、穂波の中に諸所の山野に燃石なるものあり、村民之れを採掘し薪に代用せり。遠賀、鞍手に

圍爐裏

旅に出たあつた思ふ寒夜かな
 痰壺も磨いてありぬ圍爐裏かな
 山齋のあつた思ふ寒夜かな
 子等起きてゐるあつた思ふ寒夜かな
 粗朶くべて一際高し話しこゑ
 密談に爛風呂冷めしあつた思ふ寒夜かな
 赤き足袋火箸に干しつゝあつた思ふ寒夜かな
 じざいかき金色にひかるあつた思ふ寒夜かな
 ほだくべて親子うれしあつた思ふ寒夜かな

千湖 晴鳥
 十湖 晴鳥
 十湖 晴鳥
 秀峰 晴鳥
 湖亭 晴鳥
 良亭 晴鳥

紀行に依れば「寛政十一年オタノシキ川(釧路國釧路郡)より左に原を見て行けば、原愈々廣くスリ川迄は皆原なり。此附近石炭あり、又柱戀(同國同郡)附近なるシヨンテキ海岸には磯の中にも石炭夥しく、總べてトカチ嶺よりクスリ嶺迄の内山谷海濱とも石炭なり、今度シラヌカにて石炭を掘りしに坑内凡そ三百間に至れども石炭豪も盡くる

- 【朝】味噌汁―若芽
- 【晝】のつべい汁―人蔘
- 【晚】牛鍋―牛肉 白瀧
- 人蔘 豆腐

ことなしと言ふ。』とある。石炭の名稱も地方や時代に依つて種々あり、燃ゆる石、五平太、燃え石、タキイシ、カラスイシ、ハイシトウタン、イシガラ、ナマズミ、ナマイシ、馬石、臭石、スベ(土狀炭)クソノンカウ等。坑内火成岩の影響を受けた天然コークスや天然無煙炭に對しては煽石、ハシリ、大マテ、小マテ、マテガラ、モーガンコ、ボンシー、オコリ、チクラ、カワラケ、傾城等擧げ得る

日本に唯一つ
 魂の這入つた

東京工場

聯盟の自轉車

指定販賣所 フタバ商會

平新川町・橋際

木炭の!

御用命はお客様本位に勉強する

「電話二四四番」へ

多少に拘らず早速御届け致します

平一丁目

市原商店

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ
 マス
 ハカリ
 寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

耳鼻咽喉科専門

鈴木 醫院

醫學士 鈴木 正男

自炊のお需めに應ず

平町出町(電話五八番)

入院の便あり

藤田女學校前

江戸前料理 合忠

御婚禮壽料理

松壹圓廿錢 竹壹圓五拾錢、梅貳圓 道具一式五十名迄設備あり

錦水

日本料理 仕出し専門 電話四五四番

かまぼこ 製造

水産物

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 電話一四一番

吉田眼科病院

平糺屋町 電話六八番

眼科専門 院長 吉田 安雄 醫學士 吉田 久雄

福島・茨城の握手

九面隧道開通祝賀

喜びの勿來、平湯が協力して

廿一日盛大に

本縣と茨城縣の縣境にある九面トンネルの開鑿工事は既記の如く工費二萬六千餘圓を以つて去月中に完成したので勿來町では平湯町と協力して盛大な竣功式を舉げる爲め協議中の處來る廿二日午前十時より工事箇所にて於いて舉式する事に決定した

鮫川改修

促進協議

鮫川堰水利組合では來る十日午後一時から平町團體事務所にて臨時總會を開き遅延してゐる同堰水路改修着工促進につき協議する

荒廢地復舊工事

平出張所を開設

本日から一技手が來任

町役場に陣取る

既報縣では今回郡下に於ける荒廢地復舊工事の監督の爲め平町に出張所を置く事となり本日係技術者として農林技手坂内章、橋本幸一郎の兩氏が來任差當り町役場内に荒廢地復舊工事出張所の看板を掛けると

青年會館

建設割當

既報石城郡聯合男子青年團では過般警中會議室に於いて幹部會を開き青年會館建設寄附金七百三十七圓五錢の割當に就いて種々協議

- 一、六〇 内郷一五、五〇
- 〇 好間第一一四、七〇
- 同第二一〇、一〇 赤井第一八、二〇
- 同北部一、一〇 永戸一四、九〇
- 〇 箕輪第一四二、〇〇
- 同第二二、八〇
- 澤渡七、三〇
- 三和一、〇〇
- 三坂一、九〇
- 神谷一五、五〇
- 草野三三、七〇
- 大浦二一、二〇
- 四倉一〇、四〇
- 大野二四、七〇
- 平窪一九、九〇
- 小川一九、四〇
- 川前六、五〇
- 桶賣一一、〇〇

本縣の南朝事蹟

平野元女大講師が講演

平町各小學校教員より成る修養會では來る九日午後二時より第二小學校に於て例會を開き千葉縣佐倉町平野冷堂氏の「本縣に於ける南朝の事蹟」と題する講演を聴く事になつたが同氏は元千葉縣佐倉の藩士で年若く漢學を學び宮内省に出仕大政紀要の編纂に參與した外賞勳局及び文部省を歴任教育資料の編纂に従事し後女子大學講師となり其後南朝の史蹟研究に身を委ね今日に至つた人で文部省の藩學に關する教育資料は凡て同氏の手に成るものであると

又も訴願

中野氏の異議

平町中野勇吉氏は又しても八年度分町税賦課額四百七十四圓二十四錢に對し異議を申立、町會で却下された處更らに四日縣參事會に訴願の手續を運んだ

西瓜栽培

農試分場が

大馬力

神谷農事試験場では毎年夏期に於ける當地方の市場が茨城産會津産等の二十數萬貫の西瓜に依つて獨占され地元産は僅かに後塵を拜す有様なので去る六年度より大浦村字畑谷實行組合に西瓜栽培を奨励指導した結果昨年度には同組合の西瓜畑が二町歩に達し收穫二萬

後職員一同にて批評會を開いた

馬匹去勢日割

本郡下各町村馬匹の去勢執行は來る十四、五兩日は平町十日は磐崎、十七、八兩日は植田町で夫々行はれるが各町村の日割左の如くである

平町人事

- △舊城跡一 吉田光夫氏五女正子
- △搔槌小路三四 大和田祐之助長男洋之
- △板木村鹿沼町一五四〇馬場常(三三)白銀町一四高橋万助氏二女トミ(二六)
- △鎌田五二石井義雄氏(二五)鎌田五二石井歌子(二四)

平百面鏡

電熱機で

ほうじ茶接待

三丁目大勝園では過般來最新式電熱ほうじ器を備へ顧客にサービスしてゐるが電熱ほうじの爲め香りが抜けず一般より好評を博してゐる

社員募集

共保生命の

平監督所で

共保生命保險株式會社では平町白銀町一〇に警城監督所を開設所長に福島健之氏就任したが目下社員募集中にて希望者は男女に係らず午前中來談ありたへと

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雜誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電六三〇番

專門
婦人科
花柳病科
入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい

直に家政婦を派出します

親切に料金極めて低廉で
妊産婦の御家庭にお留守居番
御病人の付添
炊事や雑用
年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話)呼六五二

上原家政婦會

會主産婆上原通子

ナツハ服の男の 懷中に三百圓

警官を見て逃げ出す 大事に仕過ぎて御難

昨六日午後十時半頃舊歳末の市内警戒に出動した平署の特別警察隊員
數名が、私服で南町裏通りを密行中ナツハ服を着た二十七才の青年が一行の姿を見るや突然逃げ出したので不審を抱いた一行が追跡引捕へて取調べると懷中にはギョ財布の中に現金三百圓餘の大金を所持して居るので本署に引致し嚴重に取調べた處

同人は、四丁目居住菓子職人大和田豊吉(三)さんで永年菓子職人として働きの貯めた虎の子の金を獨り者の事として家を出る際は必ず懷中深く所持して居たと判り今朝歸宅を許された

コタツから 坑夫長屋が全焼

内郷村大字綴字一の坪居住磐炭運搬夫今野多門(三)方で昨六日午後四時頃家人の不在中炬燵火が衣類に燃え移つて發火し忽ち同長屋を火災に包み同村消防組員が出動消火に盡力せる結果同五時長屋一棟四戸を全焼して鎮火した

ラジオの 常識と現状

園田H.K.技師長が十三日會講演
平十三日會では来る十三日午後六時よりマルトモホールに於て例會を開くが當日は仙臺放送局技師長園田勳夫氏の「ラジオの常識及現状」と題する講演があると

激増する 鐵道納炭

價格も騰貴
常磐各炭鑛と鐵道省の契約による九年度石炭納入契約高は總量百三十萬噸内外とみられ昨年に較べ五十萬噸

竣工近き 湯本町グランド

湯本町グランドは現在七

相談所から 救濟米寄附

既報平署人事相談所では舊正月に於ける貧困者救濟の爲め一般より募集した白米二俵及び金二十圓を本日平町役場内社會事業助成會に寄附した

磐女櫻ヶ丘會から 母校にピアノ寄贈

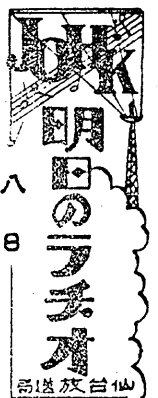
皇太子御降誕記念事業
發起人が奔走中
遠藤眞咲 菅田ハツ 大橋豊 入江ナツ 齋藤まさよ 青天目光子 鈴木アイ 佐々木チエ 關内キミ子 平松貞子 山内清子 大内カツ 金成ハル 松野尾竹子 村上エツ 遠藤イチ 植木信子 高橋ウタ 木村文子 岡本テル子 鈴木きみ子

海軍志願十八名 平町で豫備教育

平町では本月廿八日第三小學校で行はれる本年度海軍志願兵検査に十八名の志願者があるのを来る十日午後一時より町役場會議室に於いて豫備教育を行ひ其他の注意を促すと

検事局受理件數

平檢事局に於ける去月中の



明日のラジオ

今晚も明日も北西の風暴

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇(子供の時間) お話「海上生活二十年」佐藤漸二
 - 後六、二五 基礎佛語講座(七)目黒三郎
 - 後七、三〇 講演「産業前線工作」會敷労働科學研
 - 究所文學博士 桐原藤見
 - 後八、〇〇 漫談風景
 - 後八、三〇 尺八、紅葉狩友調「鳥貫辰柳外數種
 - 後九、〇〇 長唄 杵屋佐吉外
 - 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告

- #### 明日の部
- 前七、〇〇 基礎獨語講座(十四)橋本忠夫
 - 前九、一〇 料理献立「林檎のフリッター」小野やす子
 - 前一〇、三〇 家庭講座「雪見茶の湯懐石料理法」(一)栗山善四郎
 - 後〇、〇〇 五琵琶「雪晴れ」雨宮薫木
 - 後二、〇〇 家庭大學講座「病人と食物」(三)醫學博士 佐々木廉平
 - 後五、三〇 受驗講座「國語」吉川英男
 - 後六、〇〇(子供の時間) 少年映畫物語「寶島」谷天郎 伴奏指揮 萩原辰也
 - 後六、二五 英語講座(二)の(三)兼弘正雄 演
 - 後七、三〇 講
 - 後八、〇〇 漫談風景(二)「お嬢様御發展」瀧連子 其他出演者
 - 後八、三〇 掛合義太夫「櫻の浦兜軍記」竹本銀太夫 外大勢

白井氏容態急變

本朝俄然危篤に陥る

元代議士白井傳之氏は舊臘中より熱海にて病氣療養中のところ病勢悪化のかたむき有る爲め此程東京中野の自邸に引揚げたが本日容態急變し俄かに危篤に陥り近親者駆せつけ成行きを憂慮して居る

裁判所だより

△既報双葉郡富岡町元同町大字毛管及び下郡山耕地整理組合長佐藤徳右衛門(五)に對する背任横領事件の判決言渡公判は昨日午後一時より平支部に於いて中島判事係り永根(相馬)關口兩判事陪席、清田檢事立會、永野、門傳、眞木各辯護士列席の下に開廷されたが才判

社告

- 編輯部 梅崎安彦
右入社候也
常磐毎日新聞社
- △電工見習 二十迄 高卒 給料面談
 - △回職を求めめる方
 - △女事務員 十九才 高女 卒 給料面談
 - △雑役 十七才 高等卒退 給料面談
 - △木工職 二十三才 高卒 給料面談
 - △土工夫 四十一才 高卒 給料面談
 - △店員 二十七才 佐賢卒 給料面談

銘劍秘笈録

【禁無断轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第五百二十二回 徳川家に崇る村正

夢に見た夫の事

新「サアおきくや、これは私の志した、新藏の書置にもあり旁々お前にやるものがあるから」
「有難うございます、何でございませうか」
と取上げて見ますと信濃屋新兵衛自身に書いた千兩の證文

新「これをお父さん何で私に下さるのです」
「よくしてくれ、この千兩の金を進めるから出て行けといふのではない女一人でも幾分かたしなみがあれば心強く思ふであらうから此の金は些少ではあるが前にも何時でも渡す今と言へば今でも渡すが、然し今金を渡すとお前も心配だらうから證文として渡す」

新「ハイ……」
新「おまさは飽迄私の孫だ金次郎お前にとつても他人ではないから是から嫂を大切に、まさも尙大切にしておして下さるやうに、他に私は楽しみはないから、就いてはおその茲へお出で」
新「ハイ」

新「これ迄お前のした事に就いて誠に目に餘る事々々

るが、一々言へば物に角が立つ、全く新藏の家出もそれは言はないが少しはお前に覚えがあらう、唯この先は茲にゐるおきくやおまさを大切に可愛がつてさへ呉れればそれで宜い、そ

心配をしてゐるんだが、どうぞ氣を取り直しておまさを大切に是れが新藏の胤と思つたら尙一層可愛がつて貰ひたい、出来るなら家へ置くしそれが出来ないといふなら今から實家の方へ立退いてもらいたい」
是迄あまりそんな事を言つたことのない新兵衛、今日は上袴を着て改まつた言葉におそのも腰に傷があれ



れが出来ないといへばどうも仕方がないからお前にも相當の金を遣つて何れへなりとも立退いて貰はなければならぬ、信濃屋新兵衛は年を老つて心の駒の狂ひから遂に伴を失つたと世間の人に言はれてゐるから、大きに私もその事に就いて

新「誠に是は恐れ入りました、新藏が立退いたといふのも、斯うなつて見ますと私の災難にございませう、草分け死を起しても一日も早く尋ね出したいと思ひます」
新「さういふ了簡になつて呉れればもう一言ふ處は

ない、何分にも頼みまする」
家内の者も新兵衛の一言を聞いて大いに安心した、おきくに於ても千兩の證文を貰つて安心したといふ譯ではないが、新兵衛の志を聞いて安心をした。扱て新藏の立退いた後では新兵衛はもう一旦隠居をして居りますから早速金次郎が家督といふことになりました。

金次郎は又感心な男でございませう、嫂のおきくを大切に致しまするし、尙淋しからうと慰めてくれます、又嫂の方でも金次郎を慕ひます、けれども決して頼らな事はございませぬ、金次郎は嫂を思ひ又嫂に金次郎を思ひますそれを見てゐる新兵衛も大いに安心をする、或一日おきくに隠居の側へ参りまして

新「お父さん少々お願ひが有りますが聞いて下さいませんか」
新「何だい頼みといふのは何かあのいつぞやの千兩欲しいといふのか、買物でもするの」
新「いえ左様な事ではございませぬ」
新「ウム頼みたいといふのは何だい」
新「昨晩私は夢を見たのでございませぬ」
新「ハアどんな夢を見た」
新「甲州の身延山へ参詣に参りました事をありくと見たのでございませぬ」
新「ウム」
新「この時この七面山の奥山で新藏様に逢ひました」
新「ナニ平素から信心して

ゐる日連上人その靈山へお前が参詣に行つて七面山で伴の新藏に逢つた夢を」
新「私は吃驚しました、やせおとろへて哀れな姿でございませぬ、杖に縋つて参りますからあなたも新藏様ではございませぬか、と斯う申し上げましたら喜ばしい顔を遊ばして、おきくかよ、お前は來て呉れた、實は今日來るか明日來るか待つてゐたところ私も一旦心得違ひをして家出したやうなもの、昨今はどうも仕方がない、この深山でホンに雨露を浚いてゐるだけのこと、何分この上は宜しく頼む、長りましてございませぬ、とお手を取つてお連れ申上げやうと思ひました時に夢は醒めましてございませぬ」

木村外科科 院醫科外村木

平町五丁目目橋際
電話三九〇

自炊入院の便あり

謹啓私儀今回共保生命保險株式會社
磐城監督所主任として就任致し候間
舊に倍し今後共何卒御引立被成下度
偏に奉懇願候 謹言

有給社員數名募集

男女ヲ問ハズ奮闘家ハ來タレ
固定給及月收多大希望者ハ午前中來談アレ面會
ノ上相談ス。

共保生命保險株式會社
磐城監督所

所長 福島健之
平町白銀町一〇

舊正

初賣の景品御準備
本年は漆器の他に小雜貨類も取揃へ御便宜を計り
極力奉仕勉強致します故是非本年も御愛顧御引立
を御願ひ致します。

各産産漆器
記念表彰品
恩賜賞與品
進物贈答品
景品賞品類



平町三丁目北裏通り
共榮漆器店

外交員 至急募集
小店員

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番